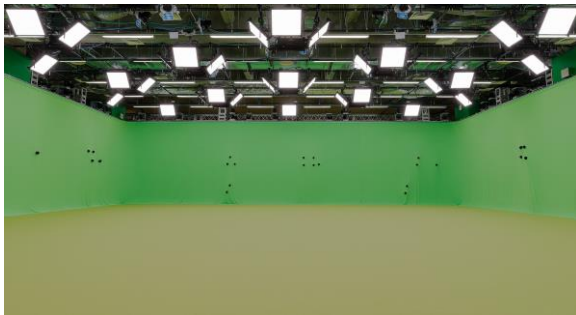


**「ボリュメトリックビデオスタジオ - 川崎」を開設
エンターテインメント分野における新たな映像体験を提供**

キヤノンは、スポーツ分野で培った自由視点映像生成技術を応用し、キヤノン川崎事業所（住所：神奈川県川崎市幸区柳町70-1）に自由視点映像、3Dデータコンテンツの撮影から編集までを行う「ボリュメトリックビデオスタジオ - 川崎」を開設しました。スポーツに加え、エンターテインメントにもボリュメトリック*1映像制作の領域を広げ、新たな映像体験を提供します。



スタジオ撮影エリア



chelmico ライブ配信自由視点映像
(ワーナーミュージック・ジャパン様提供)

■ ボリュメトリック映像の高速生成を実現するスタジオを開設

キヤノン川崎事業所内に「ボリュメトリックビデオスタジオ - 川崎」を開設しました。当スタジオでは、自由視点映像のほか、xR**2などに展開が可能な3Dデータコンテンツを、撮影から編集までワンストップで行うことが可能です。100台を超える専用の4Kカメラと独自の画像処理技術により、撮影とほぼ同時に高精細な映像や3Dデータを生成することが可能です。これにより、映像のライブストリーミング配信への活用や、コンテンツ制作期間の短縮化などを実現します。さらに、広い撮影領域を確保することで、複数人の同時撮影や大きく動く演技にも対応するほか、60fpsで撮影することで高速に動く被写体にも対応でき、多様なニーズに応じた映像制作が可能です。

■ スポーツからエンターテインメントまで幅広いシーンで新たな映像体験を提供

2019年に自由視点映像を公開したラグビーの国際試合をはじめ、スポーツで蓄積した自由視点映像生成技術を応用したスタジオを開設することで、エンターテインメントを含めた幅広い分野でボリュメトリック映像制作が可能となります。テレビCMやミュージックビデオ、xRコンテンツを活用したイベントなど、さまざまなシーン・用途に向けて新たな映像体験を提供します。

■ スタジオを活用したコンテンツ第1弾「chelmico」のライブストリーミング配信を実施

当スタジオ活用の第1弾として、田向潤監督のもと、8月26日に女性ラップデュオ「chelmico」のライブストリーミング配信に向けた自由視点映像生成が行われました。複数の自由視点映像を同時に生成し、映像を切り替えることで、視点を大きく変えたダイナミックな動きを実現するほか、通常カメラの映像と自由視点映像をスムーズに切り替える「2次元と3次元を行き来する」というバーチャルライブのテーマに沿った演出をサポートしました。

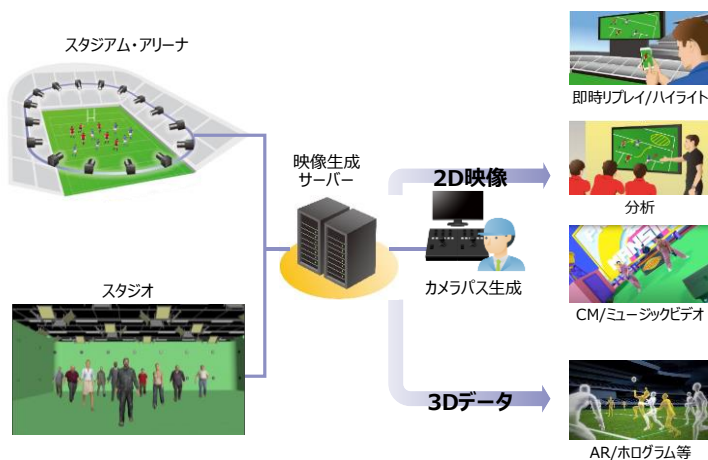
*#ごちゃ maze ハイパーバーチャルライブ <https://www.youtube.com/watch?v=dZaaUyNIP3s>

※1 撮影画像から3D空間を再構成する技術。複数のカメラで撮影された映像をつないで切り替えるのではなく、3D空間全体をデータ化しているため、空間内の自由な位置、角度からの映像を生成可能。

※2 VR・AR・MR・SRなど仮想空間技術の総称。

<ボリュメトリック映像制作の概要>

被写体を囲むように設置した複数の高解像度カメラをネットワークでつなぎ、同じタイミングで多方向から撮影。撮影映像から高精細な 3D 空間データを構築します。そのデータをもとに、3D 空間内で仮想カメラを自在に動かし、スポーツリプレイや分析、テレビ CM やミュージックビデオなどに活用する 2D 自由視点映像や、xR/ホログラムコンテンツなどに活用する 3D データを生成します。



キヤノンのボリュメトリック分野における取り組み

<ボリュメトリックビデオスタジオ - 川崎>

【スタジオの仕様概要】

- ・ ボリュメトリックビデオ撮影スタジオ
- ・ 撮影スペース : 8 m (幅) × 8 m (奥行) × 3.5 m (高さ)
- ・ ステージサイズ : 20 m (幅) × 15 m (奥行) × 4.25 m (高さ)
- ・ グリーンバック
- ・ 音源再生、收音可能

* 「ボリュメトリックビデオスタジオ - 川崎」 詳細 <https://global.canon/ja/vvs/>

<chelmico ライブ配信舞台裏>



通常カメラからの映像
(ワーナーミュージック・ジャパン様提供)



左と同じ場面の自由視点映像
(ワーナーミュージック・ジャパン様提供)



スタジオに設置され撮影に使用したカメラ



chelmico Mamiko さんによる視点操作